



プレスリリース
February 3, 2015

マウイ・ハイスクール
ホノルル フェスティバル マウイ御輿デザインコンテスト優勝

生徒達は3月7日、8日のフェスティバルでの優勝デザイン展示のためオアフ島へ

ホノルル - ホノルル フェスティバル第12回マウイ御輿デザインコンテストにてマウイ・ハイスクールが優勝し、生徒達には3月7日、8日にホノルル市民、および旅行者の前で文化的な作品を展示するための権利が与えられました。

御輿は祭りで人々により担ぎ運ばれる日本各地特有の装飾がなされた山車です。マウイの各高校が今年のホノルル フェスティバルのテーマ「紡ぐ人の輪、アロハの和。ハワイで刻む交流の史。」をモチーフとした御輿を制作するデザイン御輿コンテストに参加しました。その中で日本語教師、ナガハマ エツコ先生のもと、マウイ・ハイスクールが今年の大会で優勝しました。この御輿制作に参加した生徒達は、ホノルル フェスティバル財団、ハワイアン航空、アウトリガーエンタープライズグループ、カヒリゴルフコース、マウイオーシャンセンター協賛のもと、優勝御輿を展示するためオアフ島への旅を獲得しています。

ホノルル フェスティバル財団理事長 治福 司はこう述べています。「マウイ・ハイスクールはユニークな日本文化、ハワイ文化を繋ぐ美しいデザインの御輿を制作しました。」「私たちは文化の多様化の架け橋となり、またそれを表現するデザインを創造した生徒達とナガハマ先生を賞賛しております。」

マウイ・ハイスクールの御輿は3月7日（土）にハワイコンベンションセンターで行われる除幕式にて初披露され、3月8日（日）にはワイキキのグランドパレードにて担ぎ出されることとなります。

今年のホノルル フェスティバルのサブテーマからインスピレーションを得て、マウイハイスクールの御輿（次ページのアートデザイン参照）はハワイと日本文化の両方を繋ぎ合わせ、文化交流と世界和合を表すシンボルを見事に表現しました。以下、御輿の優勝デザインです：

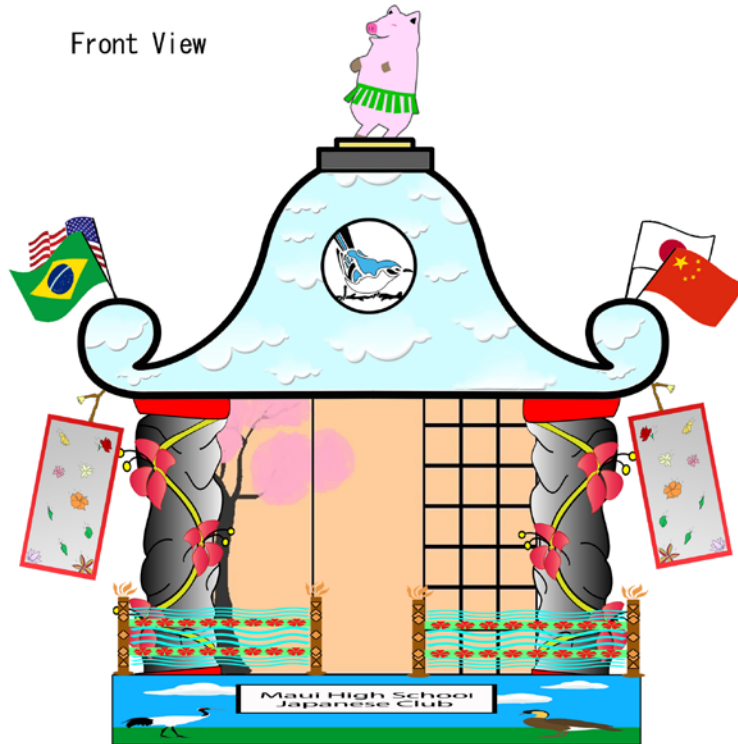
- 屋根は青空と白い雲でデザインされ、その雲のように人々も経験を通して人生が変化していく様を表現しています。
- 最頂部ではガラスカートをまとった子豚が伝統のハワイアンフラを踊っています。島を訪れる人々への歓迎を象徴しています。
- 囲い部分は両サイドにハワイの島々を象徴する松明が設置されています。松明はよくルアウや歩道に設置されていて、ここでは人々の行く先を明るく照らす道の象徴として使われています。
- 壁面はスライドするドアで、日本、及びハワイのおもてなし文化を描写しています。表側には日本の桜が、裏側にはヤシの木が描かれています。ドアは日本とハワイが多様な文化や考え方に対して常にオープンであることを表現しています。
- 帯は様々な国を象徴する花を描きブーケのように美しく、束ねられていることを表現しています。
- 縁側は日本とハワイを代表する鳥が描かれています。日本の鶴は幸運と長寿、忠誠を意味し、ハワイのネネは自発性を表現しています。

Height: 6 ft.
Width 3ft. 5in

Maui Mikoshi

Maui High School

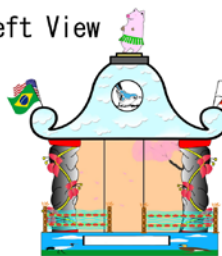
Front View



Back View



Left View



Right View



ホノルル フェスティバルについて

第21回ホノルルフェスティバルは、ホノルルフェスティバル財団、ハワイ州観光局、企業スポンサーによって支援されています。3月7日から8日の週末にかけて、芸術や文化物の展示、エンターテインメントやパフォーマンスを無料でお楽しみいただけます。ホノルルフェスティバルのテーマである「パシフィック・ハーモニー」の下、今年は「紡ぐ人の輪、アロハの和。ハワイで刻む交流の史。」をサブテーマとして掲げ、ハワイとアジア、環太平洋の人々の文化・民族交流の促進を目標としています。ホノルルフェスティバル財団はハワイの子供たちや地域に貢献するチャリティの一環として教育、及び文化プログラムをサポートしています。更なる情報は www.honolulufestival.com をご確認ください。

###

メディア・コンタクト:

Ayaka Hong, Assistant Account Executive
Anthology Public Relations
808-539-3484
Ayaka.Hong@AnthologyGroup.com

Jacie Matsukawa, Account Coordinator
Anthology Public Relations
808-539-3404
Jacie.Matsukawa@AnthologyGroup.com